

中之島の火山活動解説資料（令和7年7月）

福岡管区气象台

地域火山監視・警報センター

鹿児島地方气象台

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1、2、図3-①③）

御岳^{おたけ}火口では、白色の噴煙が最高で火口縁上50m（6月：50m）まで上がりました。

3日に九州地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、雲が覆っていたことから御岳山頂付近及び火口周辺の状況を確認することはできませんでした。前回観測（2023年8月21日）で北東側斜面から確認された白色の噴気は確認できませんでしたが、御岳北東側斜面にて地熱域が確認されました。その他山腹において地熱域は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図4）

広域地震観測網において、島内に震源が求まった火山性地震はありませんでした。長期的には御岳山体付近が震源と考えられる地震が時々発生しています。

・地殻変動の状況（図5）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められませんでした。

・火山ガスの状況（図3-②④）

東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、十島村及び気象庁が実施した観測では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1日あたり70トン（6月：観測値なし）でした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和7年8月分）は令和7年9月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、東京大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、十島村及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』及び『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図1 中之島 御岳の状況（7月2日、寄木監視カメラ）

御岳火口では、白色の噴煙が最高で火口縁上50m（6月：50m）まで上がりました。

噴煙の状況は、毎日08時30分及び14時30分に監視カメラで観測しています。



図2-1 中之島 図2-2における観測位置図（丸は観測位置を、矢印は撮影方向を示す。）

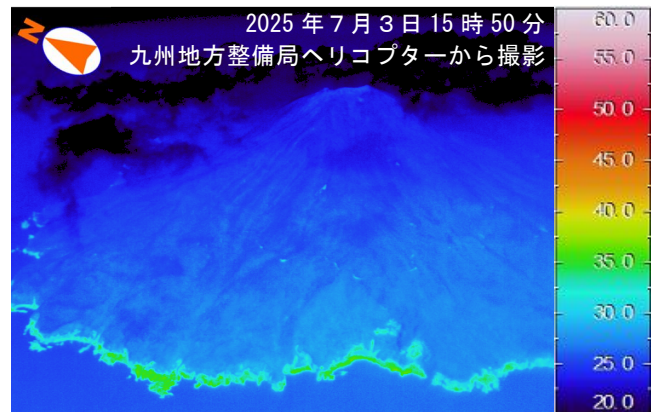
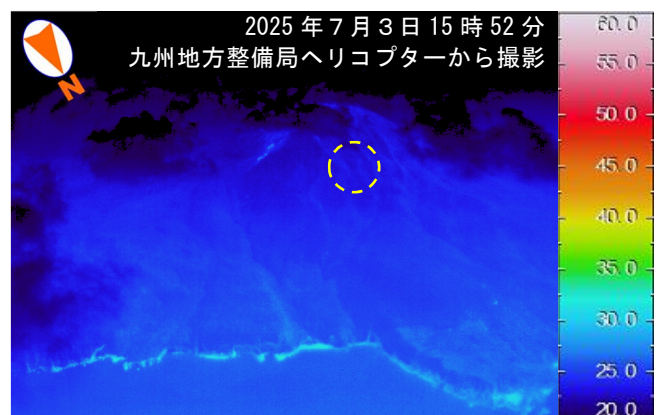
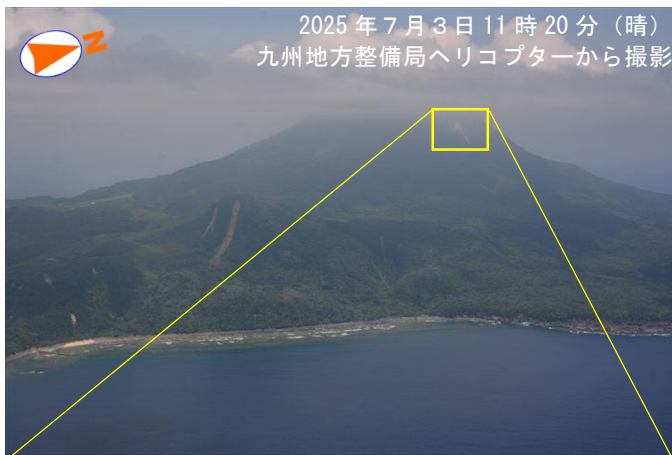


図 2-2（前ページ） 中之島 御岳周辺の状況（上空からの観測）

- ・御岳山頂付近及び火口周辺は雲のため状況を確認できませんでした。
- ・前回観測（2023 年 8 月 21 日）で北東側斜面から確認された白色の噴気（1 段目右 橙破線内）は確認できませんでした。
- ・北東側斜面にて地熱域を確認しました（3 段目右 黄色破線内）。
- ・その他山腹において地熱域は認められませんでした。

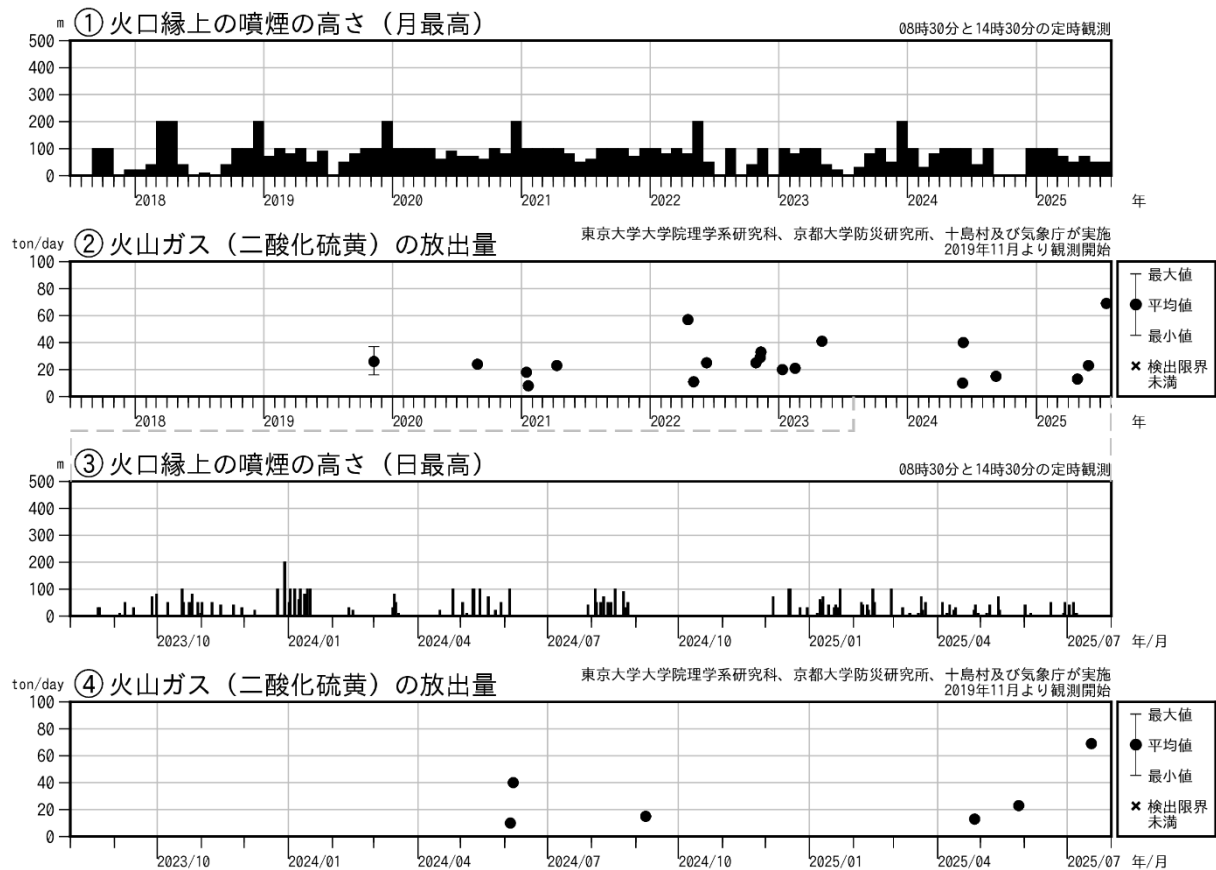


図 3 中之島 火山活動経過図（2017 年 7 月～2025 年 7 月）

< 7 月の状況 >

- ・御岳火口では白色の噴煙が最高で火口縁上50m（6 月：50m）まで上がりました。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1 日あたり70トン（6 月：観測値なし）でした。

噴煙の状況は、毎日 08 時 30 分及び 14 時 30 分に監視カメラで観測しています。

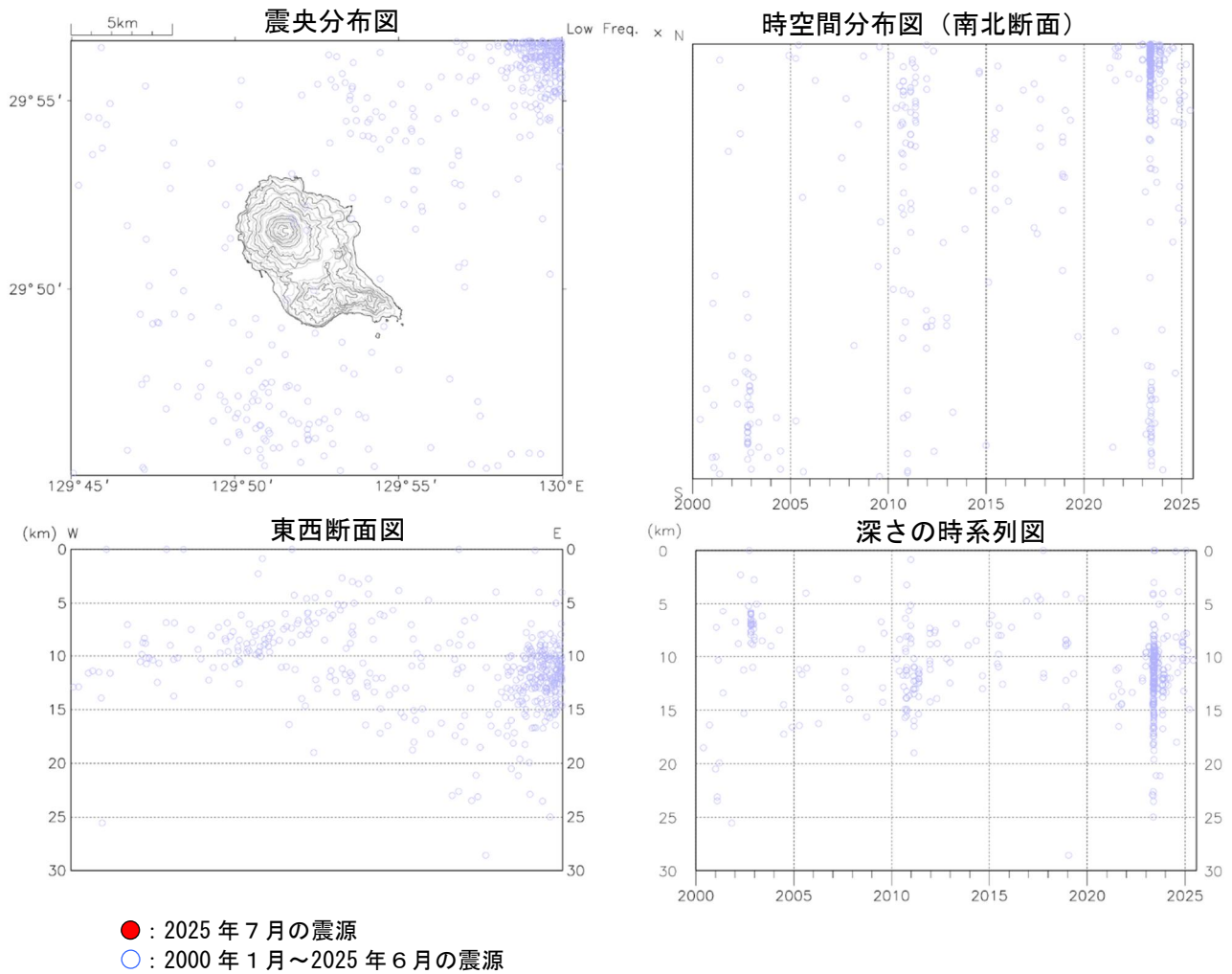


図4 中之島 中之島周辺の震源分布図（2000 年 1 月～2025 年 7 月）

< 7 月の状況 >

広域地震観測網において、島内に震源が求まった火山性地震はありませんでした。

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020 年 9 月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しております。

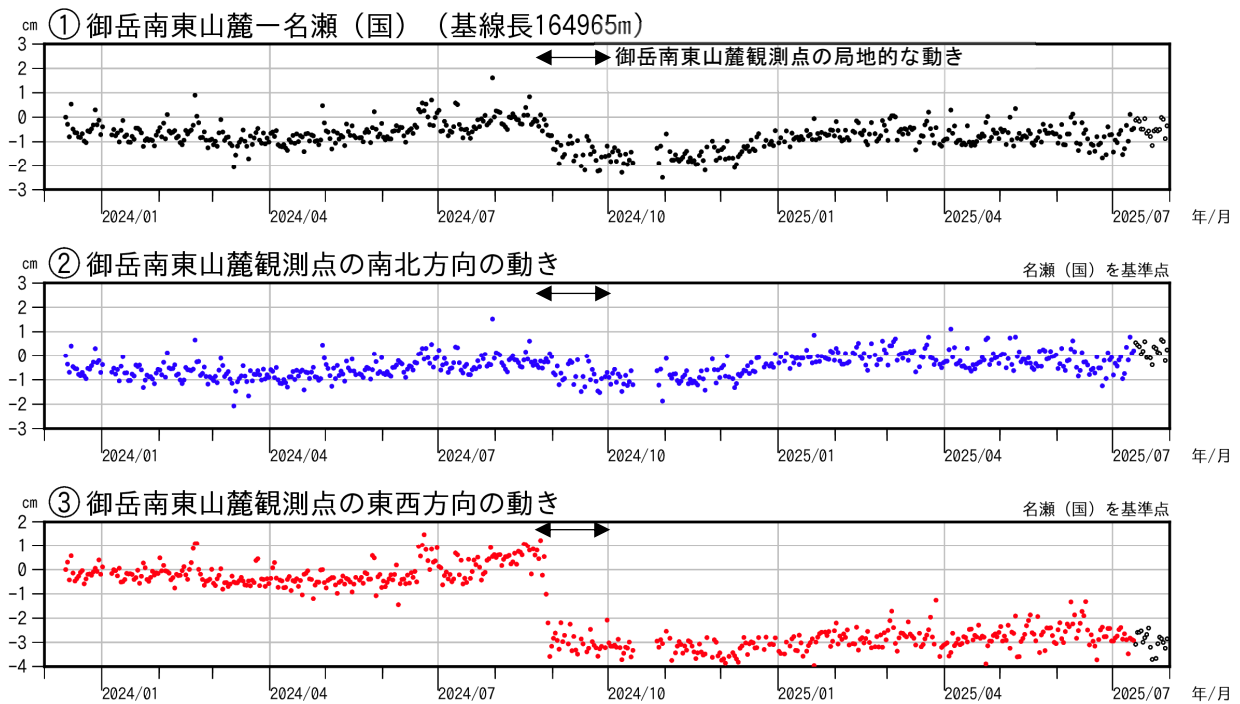


図5 中之島 GNSS連続観測（2023年12月～2025年7月）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められませんでした。

基線は図6の①に対応しています。

基線は島外の観測点（名瀬（国））を基準としています。

直近の白丸は速報的な解析結果であり、再解析により修正されることがあります。

基線の空白部分は欠測を示しています。

（国）：国土地理院

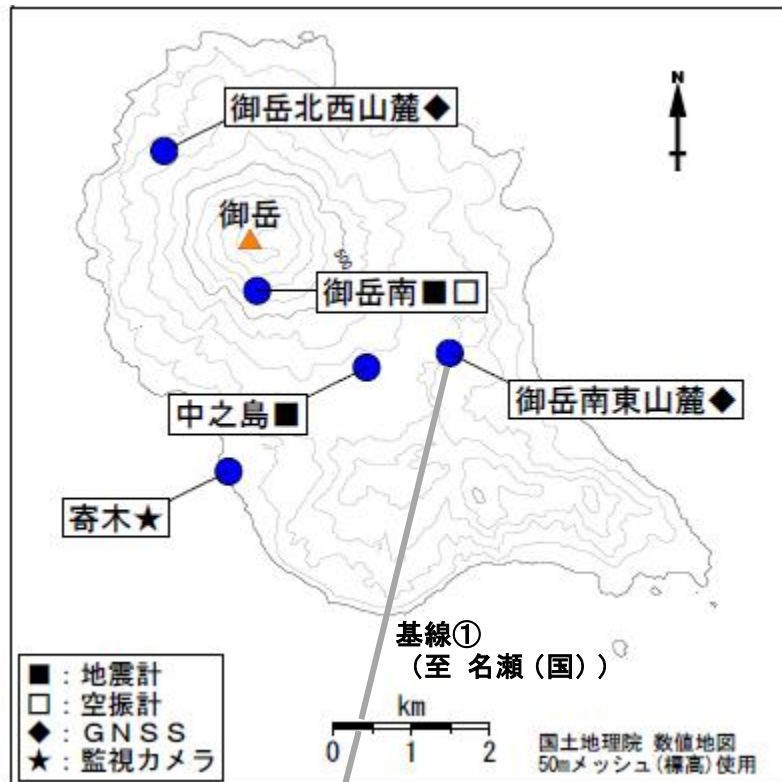


図6 中之島 観測点配置図と GNSS 連続観測の基線番号
(国) : 国土地理院